温暖化対策・環境創造・資源循環委員会資料
平成29年2月15日
資源循環局

「ごみと資源の総量」の削減状況について

1　「ごみと資源の総量」の実績

平成 28 年度における「ごみと資源の総量」については、21 年度に比べ 4.5%以上削減することを目標としています。

平成 28 年度４月から 12 月までの「ごみと資源の総量」（速報値）は、約 94 万トンで、21 年度の同時期に比べ 4.1%減少、27 年度の同時期に比べ 0.5%減少しています。

表１　平成28年度４月～12月のごみと資源の総量（速報値）　【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
			ごみ量	資源化量※1		ごみ量	資源化量※2
28年度	941,810	664,078	452,111	211,967	277,732	236,493	41,239
21年度差	▲ 40,674 (▲4.1%)	▲ 53,986 (▲7.5%)	▲ 20,841 (▲4.4%)	▲ 33,145 (▲13.5%)	13,313 (5.0%)	▲ 10,107 (▲4.1%)	23,420 (131.4%)
27年度差	▲ 4,690 (▲0.5%)	▲ 7,447 (▲1.1%)	434 (0.1%)	▲ 7,881 (▲3.6%)	2,757 (1.0%)	339 (0.1%)	2,418 (6.2%)
21年度 (基準年度)	982,484	718,065	472,952	245,113	264,419	246,600	17,819

※１　家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量については、28年11月～12月分を推計しています。
※２　事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。
※　端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

２　実績を踏まえた今後の取組

12 月までの実績では、「ごみと資源の総量」は着実に減少しておりますが、前年度に比べると家庭系ごみ量については、0.1%増加している状況です。

本市としては、この状況について危機感を持っており、市民の皆さまと情報共有を行いながら、より一層の取組にご協力いただく必要があると考えています。

そこで、改めて市・各区の自治会町内会連合会にて実績報告を行うなど、地域での情報共有に努めるとともに、市民の皆様に、ごみの分別、食品ロスの削減、生ごみの水切り、生ごみの堆肥化促進といった具体的な３R行動を実践していただけるよう、効果的な広報・啓発を進めていきます。

裏面あり

＜参考＞

平成28年度４月～12月の家庭系燃やすごみ量　各区の実績（速報値）　【単位：トン】

	28年度 燃やすごみ量	21年度差	増減率（H21比） （%）	27年度差	増減率（H27比） （%）
鶴見	32,301	▲ 993	▲ 3.0	▲ 26	▲ 0.1
神奈川	26,317	▲ 1,648	▲ 5.9	67	0.3
西	10,614	▲ 683	▲ 6.0	▲ 22	▲ 0.2
中	17,385	▲ 1,580	▲ 8.3	▲ 173	▲ 1.0
南	23,120	▲ 2,581	▲ 10.0	▲ 41	▲ 0.2
港南	24,982	▲ 1,723	▲ 6.5	▲ 154	▲ 0.6
保土ケ谷	24,405	▲ 2,141	▲ 8.1	31	0.1
旭	30,254	▲ 1,695	▲ 5.3	82	0.3
磯子	19,562	▲ 1,259	▲ 6.0	103	0.5
金沢	23,397	▲ 2,056	▲ 8.1	▲ 42	▲ 0.2
港北	36,852	▲ 864	▲ 2.3	103	0.3
緑	20,634	▲ 397	▲ 1.9	117	0.6
青葉	35,292	▲ 876	▲ 2.4	180	0.5
都筑	23,681	451	1.9	144	0.6
戸塚	30,911	▲ 2,172	▲ 6.6	190	0.6
栄	14,553	▲ 982	▲ 6.3	▲ 109	▲ 0.7
泉	18,743	▲ 151	▲ 0.8	39	0.2
瀬谷	15,164	▲ 362	▲ 2.3	▲ 64	▲ 0.4
18区	428,167	▲ 21,710	▲ 4.8	426	0.1